

A.M.I学童保育センター 『學び』アセスメント

2019年 前期		学年：3年生	氏名：網出 まなぶ
育てたい力		4月～8月	
I 自分と向きあう力	●自分の感情をコントロールすることができる（自制心）	4月、かまぼこ板落として遊ぶことが多かったまなぶ君。接戦の勝負で負けてしまうと感情的になってしまい、遊びから抜けてしまうことが多々ありました。そんな、まなぶ君に対して「まなぶ！ドンマイ！」と声をかける④せいや君のおかげもあり、感情的になってしまうときでもグッと我慢する場面が増えてきました。	
	●あきらめずに取りくみ続けることができる（忍耐力・持続性）	夏休み、A.M.I祭りに向けて「ロックソーラン」の練習がスタートすると、上手く踊ることができず「オレ…ヘタやもん…」とつぶやいていました。しかし、その後4年生リーダーたちに声をかけられ「ソーラン特訓」に参加すると「もっと上手くなりて～！」と毎日30分間の練習に1日も欠かさず、参加することができました。	
	●後ろ向きになっても、気持ちを切り替えることができる（回復力）	まなぶ君にとってイヤなことがあると「もうイヤだ！」「できんもん！」と過度に落ち込んでしまいます。まだまだ気持ちの切り替えに時間がかかってしまうこともありますが、周囲からのアドバイスやサポートを受ける中で、課題を乗り越えていこうとしている段階です。後期も引き続き、サポートしていこうと思います。	
II 人とつながる力	●相手の気持ちに「寄り添い」・「認める」ことができる（共感性）	6月、公園のベンチで泣いている1年生を見かけると「どうしたん？何があったん？」と声をかけていました。その後は、「どうしてそうなったの？」と隣に座って話を聞く姿もありました。トラブルが解決されると「よかったなあ～！なんかあったらいつでも言ってこいよ！」と声をかけることができました。	
	●ルールを守り、折り合いをつけることができる（社会性）	7月に行われた「あみ屋会議」では、「新企画」について話し合いをしました。新企画として「お菓子くじにするのか？それともお菓子掴み放題にするのか？」を話し合う場面では、他のメンバーと意見がぶつかりながらも、最終的には「〇〇の意見もいいと思う！」と1つの意見に決めることができました。	
	●様々な場面で自分の気持ちを伝えようとする事ができる（発信力）	1・2年生の頃は、自分の気持ちを伝えることが苦手な場面も多く、指導員からサポートを受けることがよくありました。しかし、下級生や同学年メンバーとの交流も広がったことで、仲の良いメンバーに対しては自分の気持ちを伝えることができるようになってきました。その一方で、上級生メンバーには、まだ少し言いにくそうにしている状況です。	
III 前へ進む力	●自分の「目標」・「課題」に取り組むことができる（向上心）	「Gドッジボール大会で優勝したい！」と目標を決めたまなぶ君。目標に向かって苦手なボールを投げる練習に取り組む姿がありました。ときには③けんた君に「一緒に特訓してや！」とお願いをし、一緒に特訓する場面も見受けられました。そして、Gドッジボール大会当日では、特訓の成果を見事に発揮し、相手選手を当てることができていました。	
	●失敗を恐れずにチャレンジすることができる（冒険心）	1・2年生の頃は、何よりも失敗をしたくないという気持ちのほうが強く出ていたように思われます。しかし、3年生になって「1回だけなら…」とまなぶ君なりに考えてチャレンジすることが増えてきました。まだまだ、難しいこともあります。こうした経験をもとに取り組むことができるのではないかと思います。	
	●自信を持ち、強みを発揮することができる（自尊心）	6月にはけん玉で1・2年生に「もしかめ」のやり方を教えてあげる姿が見られ、3年生としての頼もしさを感じました。夏休みでは、「まなぶ特訓」と名付け、ヒザの使い方・タイミングの取り方などを下級生にアドバイスすることができました。自分の得意なことには自信を持ってかかわることができていました。	